

平成30年3月14日(水) No.424



からだを鍛え 心を磨く いつも仲間とともに 夢のある学校

里中だより

川口市立里中学校

川口市里621番地

TEL 048-282-5708

さわやか相談室 048-284-1010

1年180名 2年153名 3年156名

<http://sato-chu.com/>

「今度こそ」

校長 高田 晶子

春の息吹を感じさせる便りが届くようになりました。里中学校の玄関も、保護者の皆様のご協力です。春の装いになり、卒業する40期生 進級する41・42期生 それぞれの新しい出発に向けて祝福しているかのようです。今年は、長く厳しい冬を乗り越えたので、ここ数日のやわらかい日差しが、とても心地よいです。のんびりと見沼用水沿いを散策できるのも間近に迫ってきました。



さて、この冬に開催されている平昌オリンピック・パラリンピックの多くの選手たちは「今度こそメダルを取る」「今度こそ自分の壁を破る」という強い思いで挑んでいます。選手たちの意気込みを象徴しているようです。インタビューや選手のコメントから何度も目にしました。「今度こそ」という言葉には、自分自身を今よりも向上させたいという気持ちや、結果が出た時に次の目標を見つけることができた時に生まれてくる思いです。「今度こそ」という思いがあるから4年間という長く厳しいトレーニングをやり遂げられるのではないのでしょうか。

今やるべきことを一生懸命に取り組み、問題が起こっても挫けずに何度でも挑戦していくのです。「今度こそ」と思うことで、体にぐっと力が入り、顔を上げ笑顔で目標に向かって進むことができるのです。これからの時代は、AIいわゆる人工知能が、今ある仕事を代替するようになり、そのような社会はすぐそこに迫っています。AIにはできない新しい仕事が生まれると言われます。このような時代に、今の十代の皆さんは100歳まで生きると言われ、どのように健康的に過ごすのが大切になってくるでしょう。身体的には健康でも、気持ちや心も大切です。日頃から「今度こそ」という強い意志を持ち、自分自身を鍛えておいてほしいと思います。

卒業生には、はなむけの言葉として、在校生には、激励の言葉として送ります。

3年生の保護者の皆様には、里中学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後は、地域から里中学校を見守っていただければ幸いです。3年間本当にありがとうございました。